

YP-301.C

NATURAL SOUND SYSTEM MODEL YP-301.C
GUIDE MANUAL

ヤマハステレオレコードプレーヤーシステム
取扱説明書



YP-301C

● ご挨拶

このたびはヤマハステレオレコードプレーヤーYP-301・Cをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

共振を抑えた堅牢なキャビネットとインシュレーターで振動をシャットアウト、音の入口にシュアーM-75シリーズを標準装備した音質重視のベルトドライブプレーヤーです。

YP-301・Cを長年にわたってお使いいただくため、この取扱説明書をご使用前に是非お読みくださいますようお願いいたします。

● 特長

■トレース能力の高いS字型アームの採用とあいまって音の入口にシュアーM-75シリーズカートリッジを標準装備した音質重視の設計。

■オートリターン、オートカットを採用、さらに防振対策も万全な設計。

● 目次

規格・付属品	2
プレーヤー各部の名称	3
ご使用になる前に	3
プレーヤーの組立てと調整	4
オーディオアンプへの接続とレコード演奏のしかた	7
他のカートリッジを使用するときは	8
針先の交換と電源周波数の変更	8
故障と思われる時には	9
サービスのご依頼について	9

■定評あるヤマハの木工技術と新感覚のデザインを盛り込んだ美しい仕上げのプレーヤーです。

規格・付属品

● 規格

■ターンテーブル

モーター	4極シンクロナスモーター
ターンテーブル	30mmアルミダイキャスト
回転数	33 $\frac{1}{3}$ 45rpm 2スピード
駆動方式	ベルトドライブ
SN比	48dB以上
ワウフラッター	0.08%以下(W. R. M. S)

■トーンアーム

型式	S字型・スタティックバランス型
ヘッドシェル	EIA規格プラグイン型

■カートリッジ

型式	MM型シュアーM75シリーズ
針先	ダイヤモンド0.6mil (交換可)
交換針	シュアーN75-6
適正針圧	2.5g
最適負荷抵抗	47K Ω

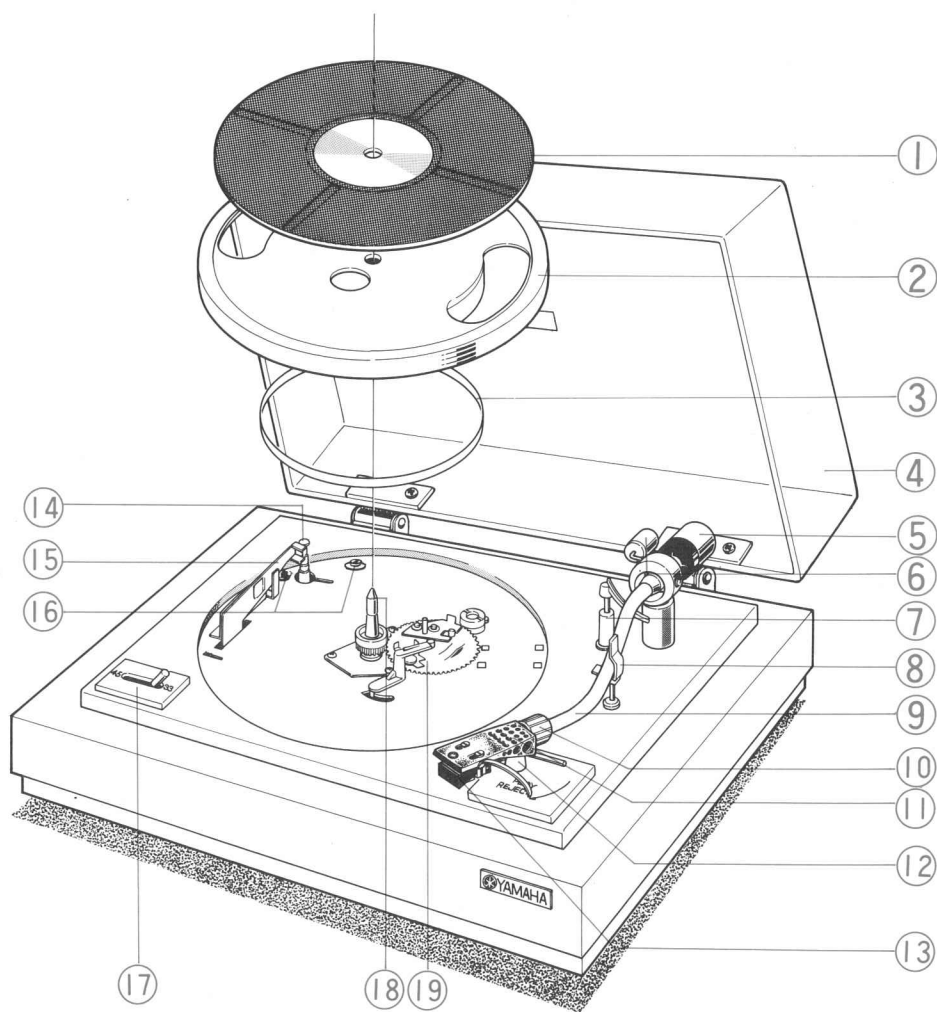
■その他

消費電力	10W(60Hz) 11W(50Hz)
寸法(W×D×H)	475×373×177
重量	7.5kg
付属品	EPアダプター

●上記の規格及び外観は改良のため予告なく変更されることがございます。

プレーヤー各部の名称

- ① ゴムシート
- ② ターンテーブル
- ③ 駆動用ベルト
- ④ 上蓋
- ⑤ メインウエイト
- ⑥ ラテラルバランサー
- ⑦ トーンアームリフター
- ⑧ アームレスト
- ⑨ トーンアーム
- ⑩ ヘッドシェル・ロックナット
- ⑪ ヘッドシェル
- ⑫ PLAYレバー
- ⑬ カートリッジ
- ⑭ モータープーリー
- ⑮ ベルト切換ガイド
- ⑯ 輸送用固定ネジ
- ⑰ スピード切換レバー
- ⑱ センターシャフト
- ⑲ オートリターン機構



ご使用になる前に

■ プレーヤーの設置場所には、水平で振動の少ない場所を選び、直射日光の当たる場所や湿気の多い場所、ホコリの多い場所は避けてください。

■ 針先のゴミには常にご注意ください。針先についたホコリは音質を悪化させます。

■ 木製キャビネットや上蓋をシンナー系の液体で拭いたり、シンナー系の殺虫剤等をプレーヤーの近くで散布したり

することは避けてください。掃除する場合は、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。

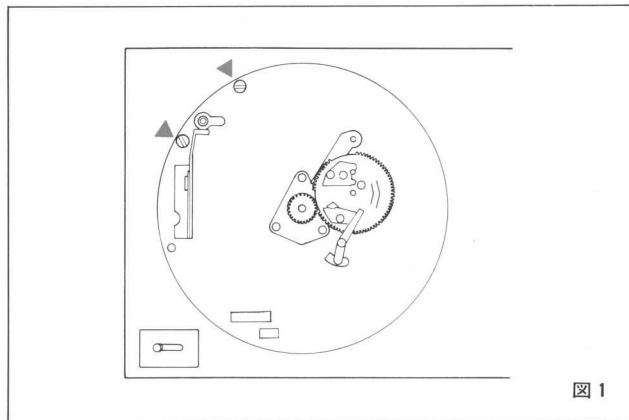
■ お買上げいただきました際購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証期間中にもかかわらず保証書に販売店印がありませんと、万一サービスの必要がある場合に実費をいただくこととなりますので、ご了承の上充分ご注意ください。よろしくお願いいたします。

プレーヤーの組立てと調整

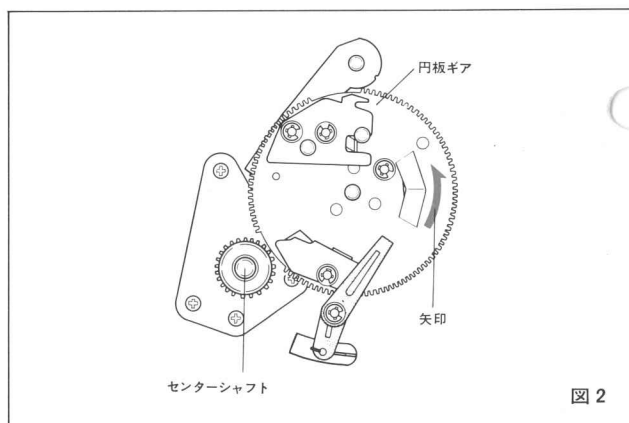
1. 組立の前に

プレーヤー部の組立と調整を始める前に次のことを必ず行なってください。

- ① モーター部は、2本の赤ネジで固定されていますのでこのネジを必ず取外してください。(図1)

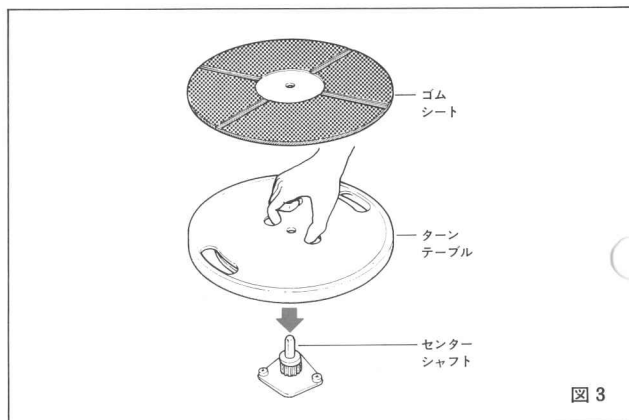


- ② オートリターン機構の円板ギヤを矢印とセンターシャフトの位置が図のようになっていないことを確認します。(図2)

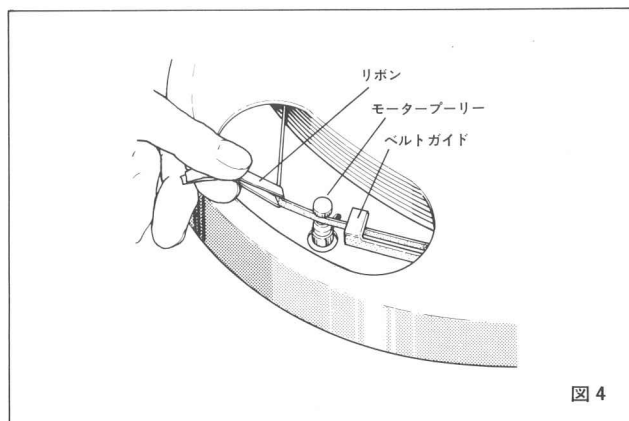


2. ベルトのかけ方

- ③ センターシャフトにターンテーブルをはめます。(図3)
- ④ スピード切換スイッチを《33》にしてください。



- ③ ベルトにはさまれたリボンの両端を引張ってベルトをベルト切換ガイドの間を通してモータープーリーの上側にかけ、リボンを外します。(図4)
 - ④ ゴムシートをターンテーブルに乗せます。
- (注) ベルトはねじれないように注意して、必ずベルトガイドの間を通してください。



3. トーンアームの組立

●メインウェイトの取付

- ① トーンアーム尾部に、メインウェイトを矢印の方向にカチッという手ごたえがあるところまで静かに押し込みます。
- ② メインウェイトは（アーム正面から見て）左に回すと前方に、右へ回すと後方に移動します。（図5）

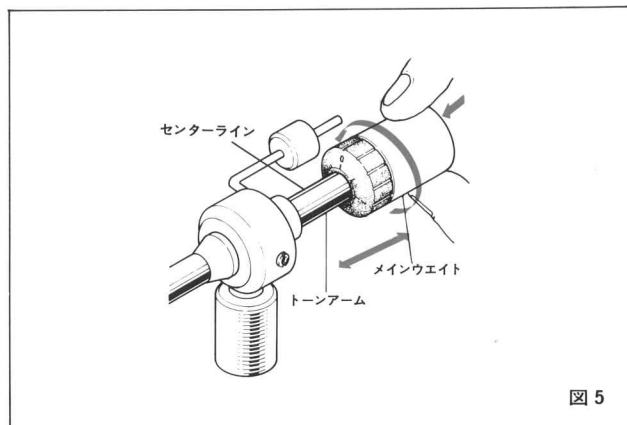


図 5

4. トーンアームのバランス調整

- ① トーンアームをアームレストから外し、アームをターンテーブルとアームレストの間にセットします。この時ターンテーブルは回転を始めます。（図6）
- ② 針先保護のため針圧調整終了まで針カバーは上げないでおきます。

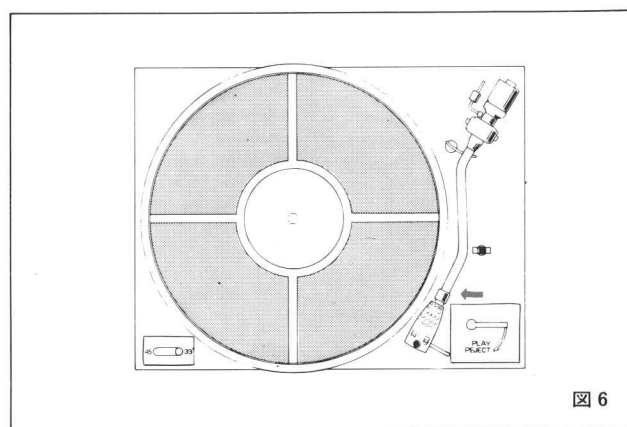


図 6

- ③ PLAYレバーを矢印の方向へ動かしますと、アームが降り始めます。この時カートリッジがプレーヤーボードに当たらない様シェルを指でささえて下さい。（図7）

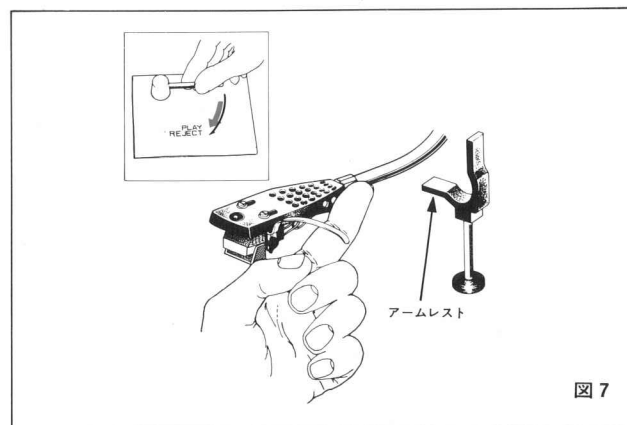


図 7

- ④ カチッというメカニズムの音がしましたら電源コードをコンセントから抜き、ターンテーブルの回転を停止させます。（図8）

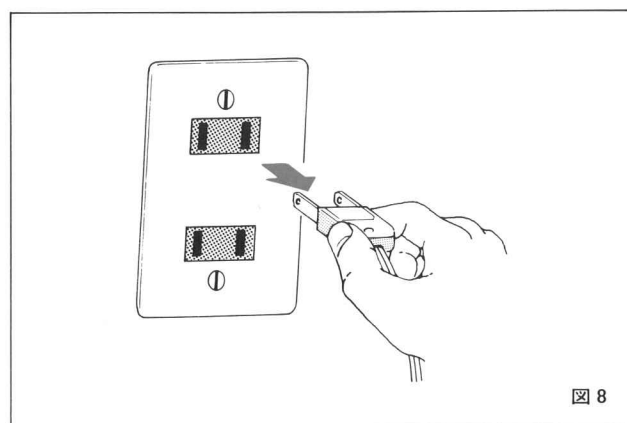


図 8

- ⑤基点を中心にして、トーンアームが水平にバランスするようにメインウェイトをゆっくり前後に回転させながらトーンアームが水平になるようにバランスをとります。

(図9)

- ⑥バランスがとれましたらトーンアームをアームレストに戻します。

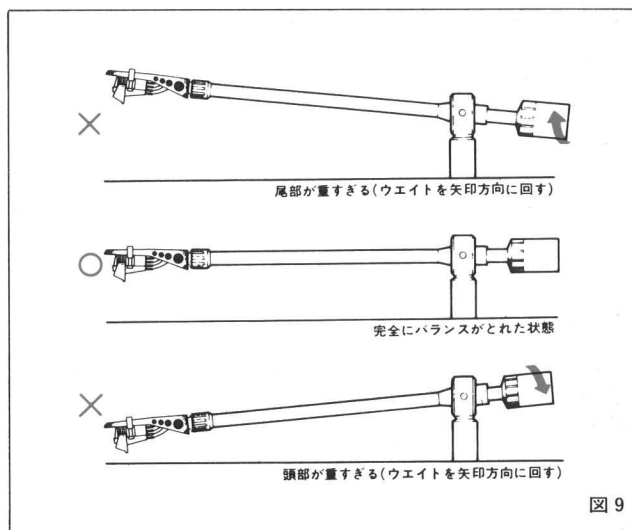


図9

5. 針圧調整

- ①バランスの取れた位置でメインウェイトが動かないようにし、メインウェイト前部のカウンターリングだけを回して数字の0をトーンアーム軸のセンターラインに合わせます。(図10)

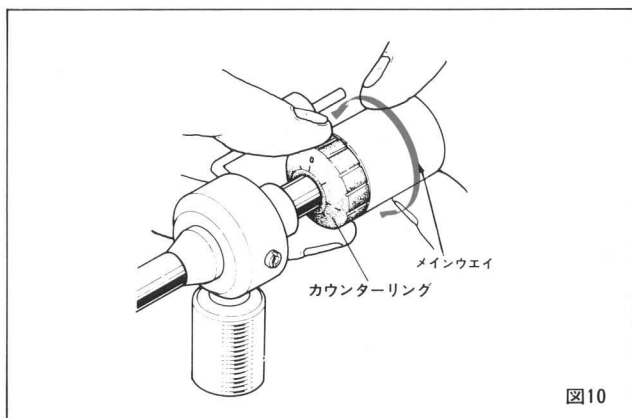


図10

- ②メインウェイトを図のように回してカウンターリングの数字**2.5**の位置にトーンアーム軸のセンターラインに合わせます。(図11)

以上の操作でトーンアームの調整はできたわけですが、カートリッジを交換したり、誤ってメインウェイトを動かした場合はバランスの調整からやり直して正しい針圧をとり直してください。

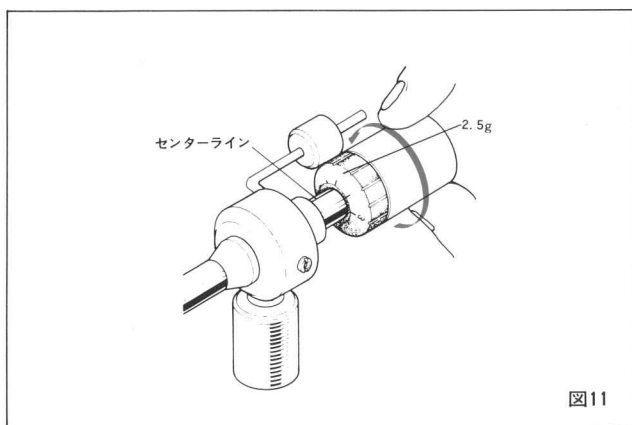


図11

オーディオアンプへの接続とレコード演奏のしかた

●オーディオアンプへの接続

- ① キャビネット背面より出ている出力コードのL、Rを間違えないように、リアパネル面PHONO端子へ接続します。ピンプラグ白がLチャンネル、赤がRチャンネルです。(図12)
- ② アース線をアンプのアース端子に接続して下さい。
- ③ プレーヤーの電源プラグをACコンセント（又はアンプリアパネル面予備電源コンセント）に接続します。

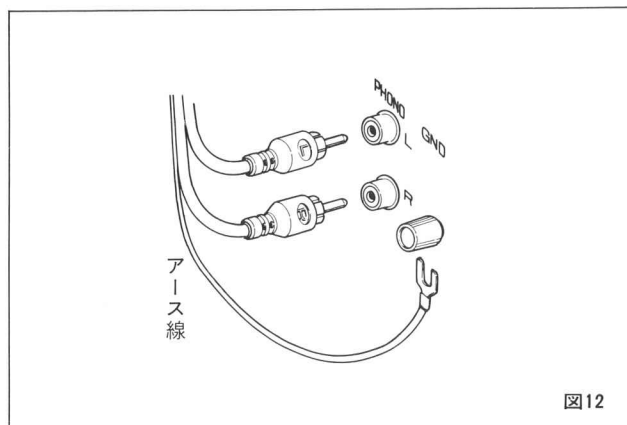


図12

●レコード演奏のしかた

- ① 接続したオーディオアンプのファンクションスイッチをPHONOにします。
- ② 演奏するレコードをターンテーブルに乗せます。レコードがドーナツ盤の場合は、付属のEPアダプターを使用してターンテーブルに乗せます。
- ③ トーンアームのカートリッジの針先を、レコード面上のお聴きになりたい位置にもってゆきます。(図13) このときターンテーブルが回り始めます。
- ④ スピード切換レバーを演奏するレコードの回転数に合わせます。(図14)

(注) スピード切換操作はターンテーブルが回転中のみ、おこなって下さい。

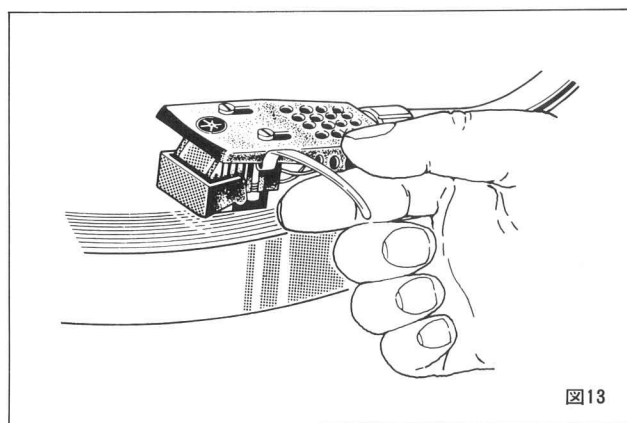


図13

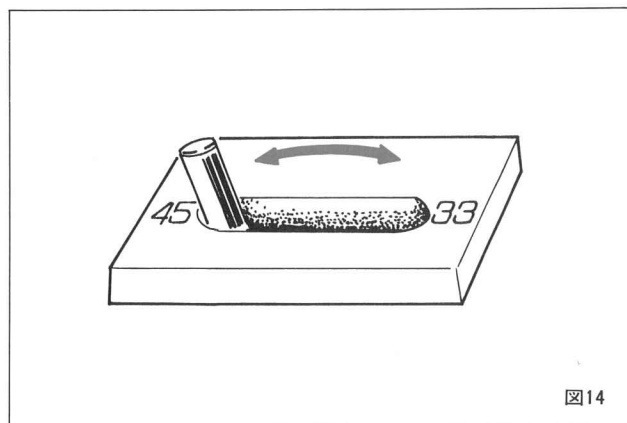


図14

- ⑤ PLAYレバーを矢印の方向に押しますとアームは静かにレコード面上に降りレコード演奏が始まります。(図15) 演奏が終了するとアームは自動的にアームレストに戻り、ターンテーブルも停止します。
- ⑥ レコード演奏を途中で止めたいときにはPLAYレバーを矢印の方向に押しますとアームは自動的にアームレストに戻り、ターンテーブルも停止します。(図15)

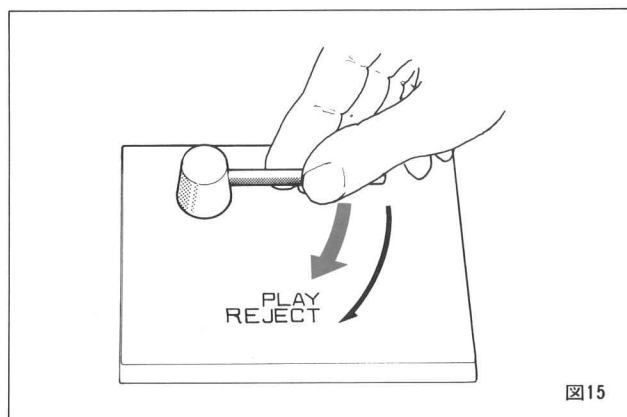


図15

他のカートリッジを使用するときは

●他のカートリッジを使用するときは…

■使用できるカートリッジの重量

他のシェルを使う場合、重量はシェルとカートリッジを合わせて15～22gまでのものが使用できます。

(注)交換したカートリッジの針圧調整は針圧の調整の項に従って正しくとります。

■カートリッジへの取付け

シェル内のリード線は図17のようになっていますのでカートリッジの各ピンに正しく接続してください。

■オーバーハングの寸法

トーンアームのオーバーハングは11mmに設計されています。取付穴が長穴になっていますので取付カートリッジの寸法によってオーバーハングが図16のように11mmに近くなるように取付けてください。

針先の交換と電源周波数の変更

●針先の寿命と交換のしかた

針先が磨耗すると音が歪んだりビリついたりする上レコードを傷める原因にもなりますので、針先は早めに交換してください。(200～300時間が平均です) 交換針はヤマハステレオ特約店に用意されていますので、YP-301・C用・シュア-N-75-6とご指定ください。

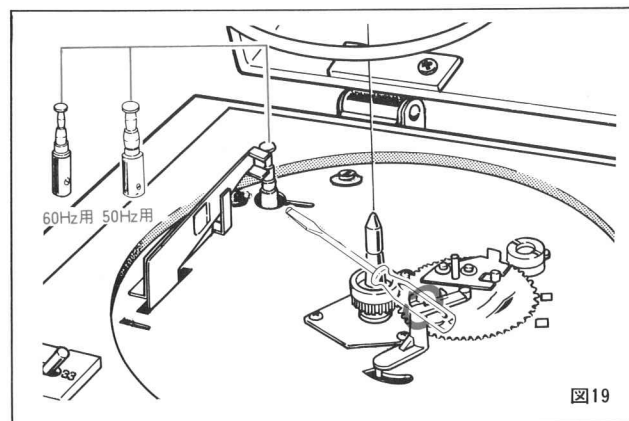
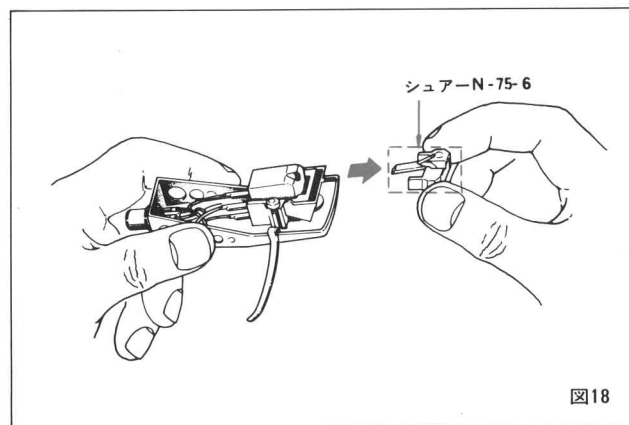
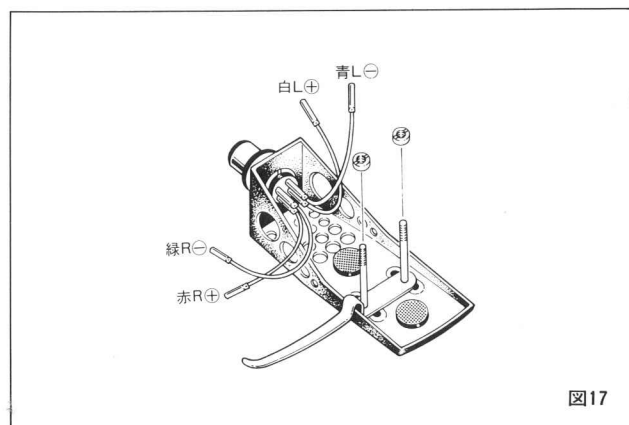
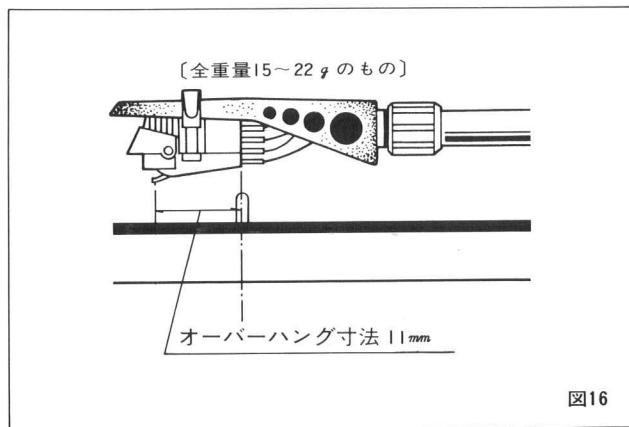
■針先の交換

- ① トーンアームからヘッドシェルを外します。
- ② 古い針先ホルダーを手前に引いて取外します。(図18)
- ③ 新しい針先を②と逆の方法でしっかりさしこみます。
- ④ ヘッドシェルをトーンアームに取付けます。

●異なる電源周波数地域で ご使用になるときは……

お買い求めの後に移転などで異なる電源周波数地域でご使用になる時は、モータープーリーを交換する必要がありますので最寄のヤマハ特約店か日本楽器各支店オーディオ技術係にご連絡ください。

- ① ターンテーブルを外し図19のようにモータープーリー側面のネジをゆるめて上に引張り外します。
 - ② 新しい交換用モータープーリー(60Hz用には溝が刻んであります)をはめます。
 - ③ ベルト切換ガイドを33回転の状態にした時、ベルトがベルト切換ガイドに触れない位置にプーリーを固定します。
- (注)手のよごれや油がプーリーに付着しないようご注意ください。



故障と思われるときには……………

症 状	原 因	処 置
PLAYレバーをONにしてもターンテーブルが回転しない	電源コードが電灯線コンセントにしっかり差込まれていない	コンセントにしっかり差込み直す
	ベルトをかけ忘れていた	ベルトをモータープーリーにかける
	ベルトがはずれている	ベルトをターンテーブル、モータープーリーにかける
	ベルトが切れている	ベルトを交換する
レコード面に針先を降ろしても音が出ない	アンプとの接続が不完全	ピンコードの接続を確認する
	交換したカートリッジの寸法が適切でないため、カートリッジの腹がレコード面に当たっている	適切な寸法のカートリッジに付け直す
ターンテーブルの回転が遅かったり、回転ムラ(ワウ・フラッター)が起こる	ターンテーブル外周やモータープーリー、ベルトなどに油が付着してスリップしている	油などで汚れている部分を無水アルコールなどで、きれいに清掃する
	ベルトが伸びている	ベルトを交換する

スピーカーからモーター音が聞こえる	プレーヤー組立の際に輸送用固定赤ネジ2本を取り除いていない	輸送用固定ネジを取り除く ("組立ての前に"の項参照)
再生音がはずんでいて聴きにくいまたは、"チリチリ""パチパチ"という音がする、または、特に高音域がはずんで汚ない	プレーヤーが水平でなく傾いている	水平に設置し直す
	針先にホコリなどが付着している	針先掃除ハケできれいにする
	針先が磨耗している	針先を交換する
	レコード自体が傷んでいたり、ホコリやゴミがついている	レコードを新しいものと交換してみる
	針圧が軽すぎるか、重すぎる	使用カートリッジの適正針圧に調整し直す
	接続しているアンプの高音(TREBLE)を上げすぎている	高音(TREBLE)をFLATポジションに戻してみる

レコード演奏のとき、"ブーン"というハム音が入る	プレーヤーのアース線をアンプのアース端子に接続していない	アース線をアース端子に接続する
再生音がふるえたり、ハウリング("ボウーン"という音)を起して聴きにくい	プレーヤーとスピーカースステムの設置場所が近すぎたり、不安定で、振動が伝わったり、共振している	しっかりした場所に移したり、スピーカーから遠ざけるなど設置場所を変えてみる
	接続しているアンプの低音(BASS)を上げすぎている(あるいはラウドネスをかけすぎている)	低音(BASS)をFLATポジションに戻してみる (ラウドネスを絞るかOFFにする)
	狭い部屋で極端に再生音を大きくしている	VOLUMEを絞り再生音を小さくする
スピードが切換わらない。	ベルトをベルト切換ガイドに通していない	ベルトをベルト切換ガイドに通す

サービスのご依頼について

●サービスのご依頼は、お買上げ店、または日本楽器各支店オーディオ技術係へお願い致します。

■支店への持込み修理

故障の場合、出張サービスのご依頼をなさらずに、直接ご自分でお買上店又は最寄りのヤマハ各支店へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお得ですし短期間でおなおしすることができます。裏表紙のヤマハ各支店の住所と電話番号をご参照ください。

■各支店住所 (オーディオ技術係)

本 社・〒430 浜松市中沢町10-1(電音サービス課)
TEL (0534)61-1111(大代表)

東京支店・〒104 東京都中央区銀座7-9-18(パールビル内)
TEL (03)572-3111

大阪支店・〒542 大阪市南区日本橋1-23(日本一ビル内)
TEL (06)643-3874

名古屋支店・〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL (052)201-5141

■保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施致します。尚補修用性能部品の保有期間は8年となっております。

■万一お買上店でのサービスについてのご不満又は製品の不調や疑問がございましたら、ご面倒ではございますが、下記ヤマハ各支店オーディオ技術係にご連絡くださいますようお願い致します。

九州支店・〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092)472-2151

北海道支店・〒064 札幌市中央区南十条西1丁目(ヤマハセンター内)
TEL (011)512-6111

仙台支店・〒980 仙台市一番町2-6-5
TEL (0222)27-8511

広島支店・〒731-01 広島市祇園町西原862(技術センターニシク内)
TEL (08287)4-3787

浜松支店・〒430 浜松市鍛冶町122
TEL (0534)54-4111

日本楽器製造株式会社

本社・工場	〒430・浜松市中沢町10-1 TEL・0534(61)1111	神戸店	〒650・神戸市生田区元町通り2-188 TEL・078(321)1191
東京支店	〒104・東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内 TEL・03(572)31111	四国店	〒760・高松市丸亀町8-7 TEL・0878(51)7777
銀座店	〒104・東京都中央区銀座7-9-14 TEL・03(572)3111	名古屋支店	〒460・名古屋市中区錦1-18-28 TEL・052(201)5141
渋谷店	〒150・東京都渋谷区道玄坂2-10-7 TEL・03(463)4221	九州支店	〒812・福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL・092(472)2151
池袋店	〒171・東京都豊島区南池袋1-24-2 TEL・03(981)5271	福岡店	〒810・福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内 TEL・092(721)7621
横浜店	〒220・横浜市西区南幸2-15-13 TEL・045(311)1201	小倉店	〒803・北九州市小倉区魚町1-1-1 TEL・093(531)4331
ジョイナス ヤマハ店	〒220・横浜市西区南幸1-5-1 TEL・045(311)6361~4	北海道支店	〒064・札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター TEL・011(512)6111
千葉店	〒280・千葉市中央4-2-1/まつだやビル内 TEL・0472(24)6111	仙台支店	〒980・仙台市1番町2-6-5 TEL・0222(27)8511
大阪支店	〒564・吹田市新芦屋下1-16 TEL・06(877)5151	広島支店	〒730・広島市紙屋町1-1-18 TEL・0822(48)4511
心斎橋店	〒542・大阪市南区心斎橋筋2-39 TEL・06(211)8331	浜松支店	〒430・浜松市鍛冶町122 TEL・0534(54)4111
梅田店	〒530・大阪市北区梅田1/阪神百貨店5階 TEL・06(345)4731	海外支店	ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・ シンガポール・フィリピン